

競技運営に関する諸注意

- ① 本大会は、世界水中連盟競技規則およびフィンスイミング大会実施基準を適用し、本大会申し合わせ事項・選手注意事項に基づき実施します。
- ② 種目の追加、変更は受け付けませんが、大会実行委員側のミスによる氏名、年齢区分、エントリー違い等の訂正がありましたら所定のプログラム訂正届け用紙に記入の上、招集所へご提出ください。
 - ※ レース終了後の変更は原則認められません。
 - ※ 氏名の漢字間違いも、賞状等への影響が有りますので必ずお知らせ下さい。
- ③ 棄権は、所定の棄権届出用紙に記入し、午前の部はウォーミングアップ終了時刻まで、午後の部は午前の部の終了時刻までに、招集所に提出して下さい。なお、棄権届出用紙を提出せずに競技を棄権した場合は、他の種目に出場できなくなる場合がありますのでご注意ください。

また、決勝競技については、レース開始 30 分前までに棄権届出用紙を提出して下さい。決勝進出者が棄権の届出を怠った場合は、罰則金の対象となりますのでご注意ください。
- ④ リレーのオーダー用紙は、レース当日の午後の競技再開時刻までに招集所に提出して下さい。
- ⑤ レースの前に、スノーケル、モノフィン、ビーフィンの検査を器具監査所で受けて下さい。認定シールのないモノフィンは、記録公認および保険の関係から、検査料 4,000 円を払って認定を受けて下さい。

(検査料の納付は大会受付にて行ってください。納付後に器具監査所にお越しください。)

検査を受けていない器具を使用した場合は失格となります。
- ⑥ スタートは 1 回制です。フライングによるやり直しはありません。
- ⑦ 長距離種目における途中距離の合図については、800m 種目は 700m のターン時に、1500m 種目は 1400m のターン時に、それぞれ水中にボードを入れて泳者にお知らせします。
- ⑧ ゴールの際は正確にタッチ板の有効面に触って下さい。タッチ板以外へのタッチは記録となりませんのでご注意ください。
- ⑨ 競技に関する抗議は、所定の抗議書の提出をもって受け付けます。抗議書は団体責任者による提出の場合のみ受け付けます。(口頭での抗議や、当事者による直接抗議は受け付けません。)
- ⑩ 競技順序に示された進行時間は目安です。実際の競技の進行状況を確認して、招集に遅れることのないようにして下さい。なお、400m 以上の種目で棄権者が出た場合には、合同レースを行うこともありますのでご注意ください。
- ⑪ 大会施設の規則により、フィンを履く際の石鹸等の使用は禁止されています。

また、シャワー室でシャンプー、リンス、石鹸等の使用も禁止されています。

規則が遵守されない場合、今後施設の利用を禁止される場合がありますのでご協力をお願いします。
- ⑫ プールサイドでは、選手は裸足でお願いします。(サンダルも含めいっさい禁止となっています。)
- ⑬ 写真・ビデオ撮影(携帯端末等含む)等は事前に申請が必要です。受付にて撮影許可申請をお願いします。撮影許可証(腕章)をお持ちでない方は撮影できません。撮影許可証(腕章)の貸出は、保証金 1,000 円と交換となります。腕章返却の時に保証金を返金いたします。返金は当日のみとします。

撮影許可証(腕章)は必ず見えるところに着用してください。撮影許可証を持たずに撮影されている方を発見した場合は、その場で全てのデータを削除していただきます。
- ⑭ 貴重品、荷物は、各チームで管理してください。盗難・紛失の責任は負いかねます。

必要な場合、受付にて団体代表にロッカーキーを貸与いたします。保証金 5,000 円と交換となります。キー返却時に保証金を返金いたします。なお、返金は当日のみとします。
- ⑮ ゴミは必ず各自・各団体にてお持ち帰りください。水泳場のゴミ箱には捨てないでください。